

景況感調査 報告書（平成29年4月期）

臼杵商工会議所

<調査概要>

調査対象：臼杵商工会議所管内21事業所

業種：造船業や醸造業など臼杵市の基幹産業を含む9業種

造船業、醸造業、サービス業、小売業、建設業、保険業、卸売業、
製造業、飲食業

調査方法：経営指導員によるヒアリング調査

【項目別景況判断】

業種によりバラツキはあるものの、全体としては悪化傾向。

全体的に厳しさが続く見通し。

項目	売上高 (完成工事)	採算	仕入単価 (上昇は-)	従業員 (過剰は-)	業況 (業界)	資金繰り
景況判断 前年同月比						
D I 値	-1	0	-2	-2	1	-4
景況判断 3ヵ月見通し						
D I 値	-3	-1	-5	0	-3	-3

※サンプル数が少ないため、調査した全業種をまとめてD I 値を出しています。

※D I 値とは、「増加・好転」の判断数から、「減少・悪化」したとする判断数を差し引いた値です。

(D I 値が「+」の場合は「増加・好転」傾向、「-」の場合は「減少・悪化」傾向となります)

※「上向き矢印」は「増加・好転」を表し、「下向き矢印」は「減少・悪化」を表しています。

【いま直面している経営上の問題点】

順位	問題点	回答数
1位	売上不振	7
2位	収益の低下	8
3位	需要の停滞（個人消費、官公需）	4

コメント

【造船】

- ・為替は1ドル115円～120円ぐらいが望ましい。
- ・新規受注は少ない（工事の遅れは解消）。
- ・3年ぐらい前から人手不足 → 新人の技量不足 → 正常化に取り組んだ
- ・鋼材単価上昇傾向（懸念）

【建設】

- ・仕事は市内がほとんど。地震関連の仕事は無かった。
- ・人手不足の状況が続いている。
- ・官公需が減少。

【いま直面している経営上の問題点】（業種別・上位3つまで）

造船業

- ・収益の低下
- ・販売・受注単価の下落
- ・人材不足

醸造業

- ・売上不振
- ・収益の低下
- ・需要の停滞

建設業

- ・競争の激化
- ・人材不足
- ・収益の低下

卸売業

- ・需要の停滞
- ・人材不足

小売業

- ・売上不振
- ・資金繰り
- ・収益の低下

サービス業

- ・販売・受注単価の下落
- ・収益の低下
- ・競争の激化

保険業

- ・競争の激化
- ・人材不足

飲食業

- ・競争の激化
- ・売上不振
- ・収益の低下

不動産業

- ・販売・受注単価の下落
- ・競争の激化
- ・資金繰り